



阿知須ひなもん作品展（まなび館）



阿知須の「ひなもん」がまなび館に
：色とりどりの樂
しい作品が並び、
ひとあし先に春を
感じさせます。

阿知須ひなもん作品展・体験

阿知須の「ひなもん」は、ちりめんや古布で作られたつるし飾りや小物です。阿知須のいぐら造りの街並み周辺で、2月8日（木）から12日（月・祝）まで「阿知須のひなもんまつり&ぶち街角ぎやらりー」が開催されます。（お問合せ 山口県央商工会阿知須支所 TEL.0836-65-2129）阿知須での展示終了後は舞台を伝承センターに移し、阿知須ひなもん教室（代表 藤本慶子、緒方勝子）のご協力により、旧野村酒場の町屋内でもひなもん展示・体験をお愉しみいただけます。ぜひこの機会をご覧ください。

山口ふるさと伝承総合センター会場

〔展示〕2月21日（水）～25日（日）9時30分～16時（最終日は15時まで）入場無料

〔体験〕各種ひなもんづくりの体験ができます。

日 時：2月23日（金）、24日（土）10時から15時までの時間帯で随時体験可能

定 員：各日30名程度（先着順）

体験料：1個につき100～600円

（作成品目によって材料費が異なります）

※申込受付は2月18日（日）9時から

まちづくりNEWS ◆三二善音小路◆

大殿地区の歴史副読本づくりが進んでいます。

大内文化特定地域とその周辺地域を対象にした歴史エピソード集の原稿づくりが少しずつ進んでいます。頁割りや使用する文字の大きさや書体を大筋決め、今までに街なか大学等で作られた年表や地名由来などの資料の見直し作業と、掲載する地図や写真の選定などを進めています。

懐かしい昭和の思い出には、写真だけではなく徳見七郎氏が描かれた街並みと、そこに暮らす表情豊かな人たちのスケッチを載せようと考えています。

編集会議では、この界隈にまつわる人間味あふれるエピソードのネタ探しを中心に、脱線しながら続いています。今後は、言い伝えや昔ながらの年中行事にスポットを当てて探っていく予定です。

指定管理者 ～NPO 法人山口まちづくりセンター～

日本商工業別明細図 山口市

昭和26年(1951)(雨村明倫所蔵)

⑥ちまきや

安政2年(1855)創業の八木呉服店は明治末頃洋品部を設置、昭和8年県内初の百貨店「ちまきや八木」が新築落成。中心商店街の核として発展、屋上の遊園地や別館があった時期も。景気低迷等の下、増床やリニューアルを試みますが平成20年閉店、百貨店事業を山口井筒屋に引き継ぎました。2代目宗十郎は山口町長、山口実業会会長をつとめ、県庁留置・市制施行に尽力、初代山口市長に。

⑦第三書房

斎藤茂吉らに師事した歌人友廣保一が、昭和5年札ノ辻に開業した古本屋。中原中也や種田山頭火も訪れました。同14年米屋町に移転、同59年閉店しました。

⑧市役所

昭和23年中市にあった市役所が火災により新館以外全焼、一時白石小学校に仮庁舎を開設、後に片岡小路の旧防空学校へ移転しました。同25年新道の吉敷郡役所跡に新市庁舎が竣工。(現山口中央郵便局の地)駐車場不足等により同50年今の地に移転しました。

⑨アベバシ

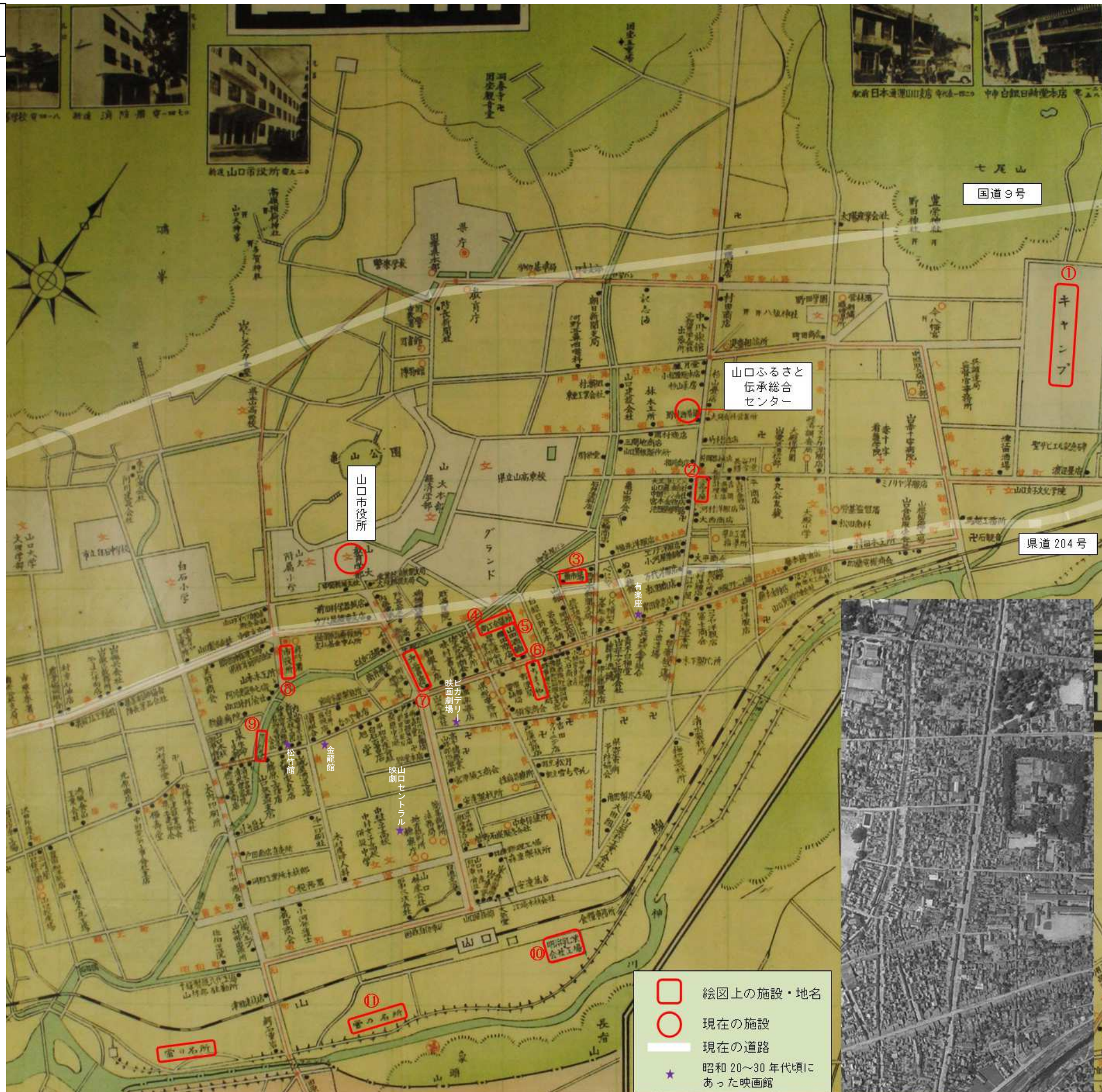
道場門前と西門前をつなぐ安部橋(旧称:極楽橋)のたもとに居を構えた安部家は、建仁元年(1201)惣貫首職補任状が伝わる旧家で、江戸時代有力商人として山口町大年寄を務め、脇本陣となりました。幕末維新时期には薩摩藩の小松帯刀・大久保利通・西郷隆盛ら薩長連合の立役者達が訪れました。明治37年山口で初めて鉄筋コンクリート橋に。昭和32年跡地に「安部本陣之跡」の碑が建てられました。

⑩明治乳業会社工場

消費都市として「工場の煙突のない街」を誇る山口にも誘致が成功し、昭和16年大煙突をそなえた工場が落成。煉乳・バター等を製造し、県下酪農事業の中核として期待されました。

⑪蛸の名所

鰯石付近をはじめ山口は古来ホテルの名所として知られました。昭和7年乱獲する者があり、山口市ほか周辺村一円を対象に天然記念物に仮指定して捕獲を禁止、昭和10年正式に「山口ゲンジボタル発生地」として国の天然記念物に指定されました。樞野川の天神河原・山口駅付近・出合河原にかけても多く見られましたが、その後農業や洗剤の普及、河川の改修などにより減少していきます。



①キャンプ

昭和20年10月連合軍の山口進駐が開始され、歩兵第四十二連隊兵営は進駐軍のキャンプ(駐屯地)となりました。同25年朝鮮戦争が勃発し日米軍が相次いで出動、山口のキャンプからも米軍兵が出動し、北朝鮮軍が釜山に迫った7月頃、市内に空襲警報が鳴ったといひます。同30年残留していた駐留軍部隊が撤収し、キャンプは日本政府に返還。前年発足した自衛隊が小月駐屯地から移駐し、陸上自衛隊山口駐屯地となりました。

②三文字屋

関ヶ原後毛利氏の防長移封に伴い、安芸国から山口に移り住んだ杉山家は、元禄元年(1688)三文字屋を創業、紙を扱う御用商をつとめ、紙問屋元締めとして藩の行政にも尽力しました。幕末には多くの藩士達が滞り・来訪。昭和52年社屋を緑町に移転。平成29年跡地に「吉田稔磨止宿之地」碑が建立されました。

③魚市場

新橋にあった魚市場は明治35年町営の定期市場となり、翌年大附町に移転。市に引き継がれ、老朽化等に伴い昭和13年山口座の跡地に移転、従来の卸売市場に小売市場を併設、衛生施設にも配慮されました。

④商工会議所

商工業発展に寄与するため明治40年山口実業談話会を設立、同年山口実業会に改称。同42年中心街各商店の連合大売出しを催す「山口デー」を開始しました。大正12年山口工業会と合併し山口商工会が発足、財政基盤強化のため昭和12年山口商工会議所を設立しました。戦時下の統制経済により同18年県商工経済会に再編。同21年社団法人山口商工会議所として再発足しました。同29年商工会議所法により改組。事務所は町役場・市役所等を経て同37年会館落成。平成5年全面改築した会館が竣工しました。

⑤山田酒舗

毛利氏の防長移封に際し、山田家初代は藩主輝元に従って山口に。代々酒造業を営み、藩主一門が参勤交代の際に宿泊する「山口本陣」に指定されました。明治以後は山口町役場、市役所が置かれました。昭和61年同所にテナントビルを開業、シティ感覚のビルとして注目を集めました。

左: 米軍撮影空中写真 昭和22年 (出典: 国土地理院ウェブサイト)

2月スケジュール

教室 OB会

日	月	火	水	木	金	土
1/28	29	30	31	1	2	3
				パッチ 和裁 レザー①	大内塗	大内塗 着付 鶴流 竹細工
4	5	6	7	8	9	10
	和裁 型染①	陶芸A	陶芸A 染色 パッチ③	陶芸B 和裁 レザー②④	陶芸B 手織	鶴流 竹細工
11	12	13	14	15	16	17
こども茶の湯 竹細工 竹細工	和裁 型染②		竹細工 パッチ①	パッチ 和裁 レザー①	大内塗	大内塗 着付 鶴流 竹細工
18	19	20	21	22	23	24
	和裁 型染③	トール	ひなもん展示	パッチ②	ひなもん体験	ひなもん体験
			染色 パッチ③	和裁 レザー②④	手織	鶴流 竹細工
25	26	27	28	3/1	2	3
こども茶の湯 竹細工 竹細工	和裁 型染④	トール そば打ち体験	竹細工 染色 パッチ①			

イベント案内

和布あそび作品展

ちりめん細工、さげ飾り、その他可愛い小物も展示販売されます。お気軽にお越しください。

日時：3月3日（土）・4日（日）

9:30~16:30（4日は16:00まで）

主催：生涯学習教室・きらめき塾

ものづくり体験のご案内

そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日時：毎月最終週

2月は27日（火）13:30~16:00

定員：14名（抽選にて選定）

体験料：1,000円（材料費含む）



和菓子作り体験

用意された生地を使って和菓子（2種類）を作ります。

日時：3月4日（日）13:30~15:30

講師：設楽浩治氏（風月堂職長）

定員 12名（抽選）初めての方歓迎

体験料：800円



体験受付は2月20日（火）まで

道路工事について

伝承センター利用者用駐車場として八坂神社向かい側の観光用駐車場を使用していますが、南側の石原小路（交差点から一の坂川までの区間）の道路整備工事が3月23日まで行われ、車両通行止めとなります。また駐車場の一部掘削調査が2月5~9日、19~22日に行われます。（予定）工事車両の使用等により、期間中は駐車スペースが制限される場合があります。皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

海外技術研修員が見た日本

ブラジルからの研修員・金崎理恵スージーさん。1月末で研修を終えるにあたり、今の心境などを話してもらいました。

（金崎）日本に来るまで日本語はあまり勉強していませんでした。わかりにくいところがあり、レストランで「・・・以上です」（それまでに挙げたもの、合計という意味）といわれるのも最初はよくわかりませんでした。本を読んだだけでは難しいことも、日本人と毎日話したり聞いたりすると、かなりわかるようになりました。ブラジルに戻って、これからはもっとお祖父ちゃん・お祖母ちゃんと日本語で話したいです。

日本で陶芸などいろいろ学んだり体験したことで、興味がたくさん広がりました。花瓶をつくって生け花もやってみたくなり、料理は興味なかったけど、そば打ち体験や料理教室に参加して面白く感じました。家族で日本の料理を作ってみたいです。とんぼ玉も、ブラジルでは見たことなかったけどまたつくってみたい。

ブラジルに帰ったら、大好きなポーレンタ（トウモロコシの粉を練り上げた料理）やフランスパンにモルタデラ（スモークで塩からいソーセージ）を挟んだものを食べたい。でも瓦そばや回転ずし、ラーメン、たこ焼が恋しくなるかも・・・



山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12

TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877

E-mail y-densho@c-able.ne.jp

URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間

9:00~17:00

入場料 無料